

DaiGo 氏の発言に関する「ホームレス支援全国ネットワーク」の見解

2021 年 8 月 18 日

NPO 法人ホームレス支援全国ネットワーク 理事会

8 月 7 日にライブ配信された Youtube チャンネル「メンタリスト DaiGo」における DaiGo 氏の「生活保護の人たち」及び「ホームレス」に対する発言は、ホームレス支援に携わる立場として看過できるものではなく、ここに私たちの見解と決意を表明することとします。

私たちは、全ての人には生きる権利があり、命は尊重され守られるべきものであるとともに、誰であれ人が生きることを阻むことは許されないと宣言します。またどのような状況に人が置かれたとしても、その人の生きる権利は侵害されず守られるものと考え、私たちはこれまで活動を続けてきました。

しかし、当該動画では生活保護受給者及びホームレス状態の人の命を軽んじ、命を分断する発言がなされています。軽んじられる命と重んじられる命など存在しません。全ての命は普遍的に尊いものであるという認識が全く欠如している発言であり、これは絶対に赦されない発言であると言わざるを得ません。

さらに DaiGo 氏は様々なメディアで取り上げられる著名人であり、社会に与える影響力は大きいと私たちは考えます。DaiGo 氏の今回の発言はこの認識に欠け、命に優劣をつけ、特に生活保護受給者及びホームレス状態の人に対しての蔑視や憎悪を煽る可能性を有しています。これまで幾度となく繰り返されたホームレス状態の人を標的にした襲撃事件が発生し、殺人事件にまで発展したケースもあり、今回の発言はそのようなヘイトクライムを誘発しかねません。

さらにこの発言は、「生活保護」への間違った認識を拡げ偏見を生み出すものでした。これにより既に常態化している生活保護受給者へのバッシングが強まるのではないかと危惧しています。これでは助かる命も助からない結果となります。生活保護制度は憲法 25 条に規定された生存権を保障するものです。生活保護制度の利用を抑制するような動きは、命に直結する大問題だと言えます。実際、保護につながらず餓死に至ったケースもあり、当該動画の影響が懸念されます。

DaiGo 氏は、まず今回の発言を反省し、傷つけた人々がたくさんいることを知る努力を最大限行ない、この当事者に対して心からの謝罪を行なっていただきたいと考えます。さらに共に生きる社会を確立するために自分が何をすべきかを模索していただきたいと思います。人は過ちを犯します。その過ちの本質に真摯に向き合い、責任を取ることが重要です。単なる無知の問題ではなく、人間の命そのものに対する深い洞察と自らの持つ価値観を根底から問い直し、そこから本当の意味での再生を期待します。

さらに今回の問題は、SNS、動画配信プラットフォーム事業や出版事業、その他のメディア事業の在り方を問うものです。言論の自由、表現の自由は最大限尊重され、確保されるべきものであることは議論の余地はありませんが、人権を侵害する情報を垂れ流すような実態であれば何等かの対処が必要になると考えます。これは今後広く議論されるべき事柄であると思います。

まず、人間の尊厳に関わる問題に抵触する内容が配信された場合、その配信に関する責任は、個人に委ねられるだけでなく、配信元である事業者の責任も問われるべきです。人を虐げ、貶める内容が個人によって削除されなければ、延々と世に流れ続けるという構造は改めるべきことです。今回、ホームレスや生活保護受給者だけでなく、様々な差別的な内容が配信され、問題が明らかになって以降も配信され続けてきました。プラットホーム事業者は、適切な基準を設置・公開し、その基準から逸脱した配信については速やかに削除する強い姿勢が求められます。また、今回のような事案においては、意識的・無意識的にかかわらずいわゆる「炎上」することによって逆に注目が集まり、結果として差別を行った側が利益を得る場合があります。そして、その利益を目当てに差別が繰り返されるという事態も想定されます。差別を利用して利益を得るような構造を変えるためにも、メディアや出版業界は、今回の出来事を通して今一度自らの立場と責任を再考し、今回のように差別扇動を行うような人物の起用は控えるべきではないでしょうか。今回の問題を機に事業者の方々にも、今の在り方を問い直して頂くことを要望します。

私たちはあらゆる人のチャレンジを応援し、伴走する活動を実施してきました。そして、そのことにより、私たち自身が変わり、人が変わり、社会が変わることを願ってきました。現場での出会いを元に2002年ホームレス自立支援法、2015年の生活困窮者自立支援法などの制定に関与し、この国や社会の在り方自体を問うてきました。本件を契機に、より多くの人々がホームレス問題等について知り、考える機会が生まれ、一人ひとりが豊かに暮らせる未来に繋がることを期待していますし、同時に新しい仕組みの議論にもつなげられるべきだと考えます。私たちは、これまで通り路上の命に伴走し、今回のDaiGo氏の発言により傷つけられた人々と共に生きていくことをここに表明します。

以上